



昭和小 第7号

校長室便り
文責
生田 文明

全校児童で田植え

十五日（金）、JA青壮年部、保護者の皆様のご協力の下、今年度も天候に恵まれ、田植えを行う事ができました。

田植えを行う前に、五年生から、種まきから、今日までの苗の生育の様子やお世話、稲に関するクイズ、また、田植えをする際に心がけてほしいことを「命ある苗、一本一本丁寧に植えてほしい」ことなどを全校生徒に呼びかけました。

学校から百m程離れた。松本さんの水田をお借りしての田植え、プールの二倍ほどの広さの田に、上級生と下級生がペアになり、苗を植え付けていきました。

約四十分ほどで作業が完了。途中で、田に足が取られ、尻もちをつき、どろんこになってしまった児童もいましたが、みんなとても貴重な体験ができ、笑顔いっぱい、田植えができました。

秋の稲刈りまで、稲の成長を見守り、大切に育てていきたいと思えます。稲の成長に合わせた今後のご指導もよろしく願います。



校内童話発表会

十九日（火）に校内童話発表会を開催しました。

子どもたちは、この日に向け、お気に入りの童話や昔話、物語等を暗記し、発表の練習を積み重ねてきました。

各学級での選考会を経て、当日は、一年（きさきさん）、二年（かけるさん）、三年（りのさん）、四年（かなでさん）、五年（りようたろうさん）、六年（すずなさん）が発表しました。学年代表だけあって、聴いている人に、話の内容、各場面の様子、登場人物の性格などがよく分かるように、語りかけるように朗読を行うことができました。

審査の結果、六年（すずなさん）が、七月二十四日の市童話発表会へ学校代表として参加することになりました。読書好きな本校の子どもたち、これからも本の世界を楽しんでもらいたいと思えます。



外国語・外国語活動の



充実に向けて

外国語活動・外国語の充実を図るために、今年度から、小学校英語教育アドバイザーの派遣事業がスタートしました。早速六月二十一日（木）に、本校にアドバイザーが派遣され、三、四年生の複式学級で行う外国語活動の授業について、アドバイスをいただきました。

まずは、英語を聞き、慣れること。日本語に訳さず、カタカナ表記をせず、英語そのままの音を聞き分け、推測すること。幼児の頃日本語を話し始めたときもそうでしたね。



※健康教室（ご案内）

- ① 日時 平成三十年七月四日（水）
午後七時から
- ② 対象 七中校区の幼・保・小・中の保護者、保育師、教職員等
- ③ 会場 郡築小学校 体育館
- ④ 内容 実践報告（昭和小・郡築小・七中から）
・小・中学校の性（命）の教育についての講話



・いのち・互いを思いやる心の大切さ
・青少年の性の実態をとおして、
・講師 八代保健所 田尻 保健師
八代市保健センター

橋本 保健師

※いのちの現場から、

命をつなぐことの大切さ、責任。
もし、命をつなぐことができなかった
その時、家族として・・・

★当日参加OKです。

お誘い合わせの上、ご参加ください。